

6.9

自立への準備

1. 題材設定の理由

体の成長は進んでいるが12歳は思春期に入り、第二次反抗期といわれ、心は非常に揺れ動く時期である。大人の仲間入りをしようとしているこの時期に、本当の大人とはどういう大人を指すのか、考えさせる機会にしたい。

そこで、本時では成長を振り返り、家族や周りの人に頼って生きてきた幼児期から、考えて行動することができるようになってきたこの時期に、自分で考え、解決していく生き方ができるよう、自立の大切さについてじっくりと考えさせていきたい。

2. 指導のねらい

成長の足跡を振り返り、自立の大切さや今後の生き方を考えることができる。

3. 指導計画（全1時間）

事前	・ノート①②について書かせておく。
本時	・これまでの成長を振り返らせ、自立の大切さについて考え、これから自分の力でがんばろうという気持ちをもつ。
事後	・ノート④の各個人の目標をつかみ、前向きな姿勢を評価していく。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・これまでの成長を振り返ることができる。	◎これまでの成長を振り返り、自分でできなかったことができるようになったことを書き、思ったことを発表する。 ・体が大きくなった分、高いところのものが自由にとれるようになった。 ・買い物が自分でできるようになった。 ・食事をつくることができるようになった。 ・洗濯ができるようになった。 ・電話の応対で、考えて、話すことができるようになった。	・具体的な事実をもとに発表させ、みんなに共感させる。	ノート① ノート②
課題：自分の力で解決したり、自分で考えて行動することの大切さについて考えよう。				
中心的な活動	・話し合い活動から、自立の大切さを理解することができる。	◎作文を読み、自分の身の回りにいる大人で、すごいなあと思う人を振り返ってノートに書く。 ・おじいちゃん、あまり人に頼らないで、自分のことをがんばっている。 ・親戚のお兄さん、働きながら自分のことを全部やっている。 ・お父さん、仕事をしているとき、どうしたらお店が大きくなるか考えて、働いている。 ◎理由も言いながら交流する。	・「すごい」の視点を、「自分の力でがんばっている人」とし、自分の身の周りの人を探させる。 ・自分の力で生きていくことのすばらしさを感じるようにする。	ノート③
まとめ	・今後の生き方について考え、決意をもつことができる。	◎本時の学習から、まとめを書く。 ◎先生の話聞く。	・自分も、できることは自分の力で解決していく、という気持ちをもたせる。	ノート④